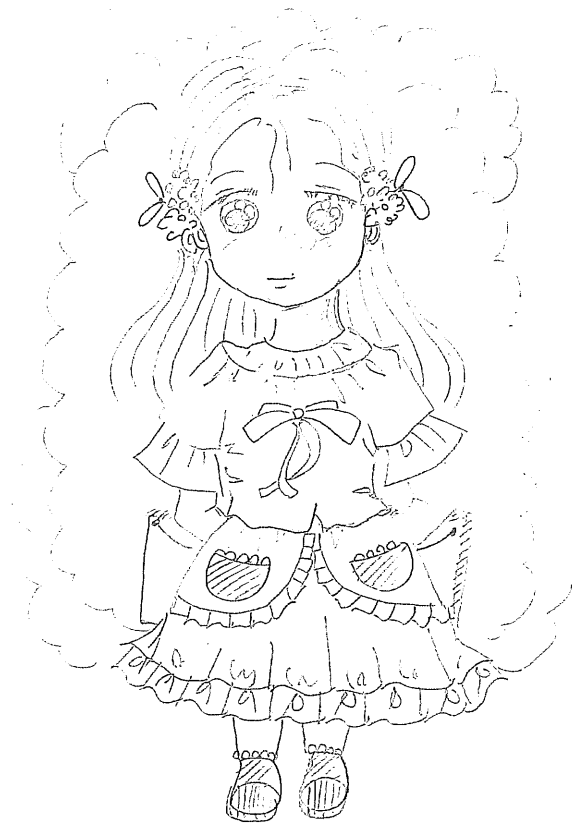


旅立ち

社会福祉法人しらとり会
当事者通信(No. 100)
令和6(2024)年1月4日発行

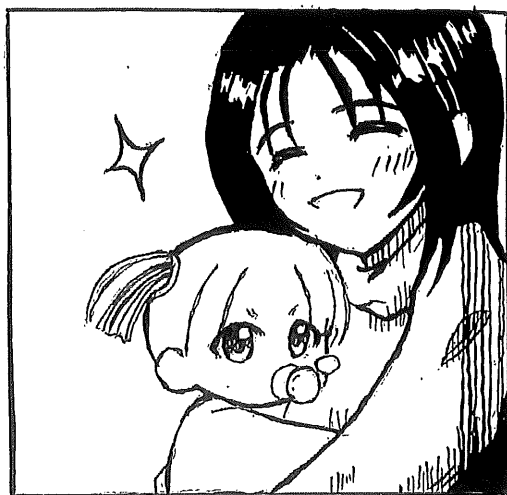
今月は、4名の方からの投稿です。



MISIA 論(その3)

「愛」を不変のテーマにし、LGBTQ を支持し、J-POP を歌うのである。やればできるのである。何でもできる。「愛」は東日本大震災で「明日へ」を歌い、NHK 紅白では、エジプトから「オルフェンズの涙」を歌った。明日へつながる希望を歌っているのである。そしてウクライナに多額の寄付をした。アンチ MISIA の人は、「金持ち」で優遇されているのではないかと心ない人は思っているが、MISIA の歌は日本中、いや世界中に愛でつつみ込み、不変の「アイノカタチ」を歌っているのである。MISIA 星空のラジオ Sunday Sunset を聞くと彼女の気さくさがわかる。彼女がああ声で歌っているとは思えない新曲「傷だらけの王者」は NHK の W 杯ラグビー大会の主題曲である。

(Y.Y.)



- 東広島市自立支援協議会の専門家は何様だ。
- 全員が世界で一番偉い。
- 東広島市と言う小さな田舎町で威張ってみても所詮田舎猿に過ぎない。
- 田舎猿には田舎猿の社会指導しかできない。
- 世界でビリの専門家にはビリの指導しかできず社会指導すると反対に利用者が社会復帰できない。
- 東広島市自立支援協議会の専門家に経営能力や管理能力があるのなら公益財団法人や公益社団法人を作り医療や福祉を担い税金を投入するのをやめればいい。
- 頭でっかちの大学出の思い上がりが少しは治るだろう。
- 大学出能力貧乏人。

(加藤忠男)

【投稿の募集】

投稿記事は、オリジナルのイラスト、投稿者の思いです。
読んでいただいた方からのご感想をお寄せください。また、利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。
次回の締切は、1月15日(月)です。